CRAFTSMANSHIP
KOTOBUKIYA

6.4

メガミデバイス
MEGAMI DEVICE

1/1 SCALE FULL ACTION PLASTIC MODEL KIT

[朱羅 弓兵 絆]
アスラ キュウヘイキズナ

© KOTOBUKIYA ©Masaki Apsy ©Toriwo Toriyama

ASRA ARCHER KIZUNA

MEGAMI DEVICE Designed by Nidy-2D-
Body Modeling Provided by Masaki Apsy
Modeling by Noritaka Fukumoto and Amaai (Eye Prints)

メガミデバイス
MEGAMI DEVICE

西暦2046年「機械少女」に「模型の武装」を施し戦わせるバトルプラホビーが始まる。
使用機体はプレーヤー自ら組み立て、完成させなければならない。

Mechanical Girls × Armament of Miniature

頭文字をとって機体は「**MEGAMI**(メガミ)」と呼ばれる。 全高約14cm。AIで稼働する。

【朱羅 弓兵 絆】 四肢に専用武装を装備した初めてのメガミである「朱羅シリーズ」は初期の傑作機として多くの支持を受けたが、
長期間の運用によってセッティングの最適化が進むにつれ、専用武装が生み出す推力に本体が
「振り回されてしまっている」実情が明らかとなっていった。
中～遠距離戦闘型の「朱羅 弓兵」では「朱羅 忍者」ほどコンセプトへの影響は無かったものの、
忍者とセット運用されるケースが多かった為か、半ば脊髄反射的にアップデートされたのが「朱羅 弓兵 絆(きずな)」である。

⚠ 組み立て前にお読みください。（下図のパーツは説明用の一例です。本製品のものではありません。）

⚠ 注　意

- ●本製品の対象年齢は15歳以上です。対象年齢未満の方には、絶対に与えないでください。
- ●窒息などの危険がありますので、誤飲に注意してください。小さなお子様には絶対に与えないでください。
- ●製法上やむをえず尖った形状の部品がありますので、誤って目や皮膚を刺さないように注意してください。
- ●部品加工の際、出た削りカスを吸わないように注意してください。
- ●塗料や接着剤の使用の際、必ず換気を良くして行なってください。
- ●部品の加工の際、刃物の取り扱いには十分注意してください。
- ●ぶつけたり振り回すなどの、乱暴な遊びをしないでください。思わぬケガをする危険があります。
- ●本製品は予告無く仕様を変更する場合がございます。ご了承ください。

■必ずお読みください。

- ○組み立てる前に必ずパーツリストで各パーツの有無を確認してください。
- ○パーツはニッパー・カッター等できれいに切り取ってください。（ケガには十分注意してください）
- ○組み立てには、カッターナイフ・プラスチックモデル用塗料などを使用します。
- ○塗料はより安全な水性塗料をおすすめします。
- ○工具・材料は、模型用品取扱店等でお買い求めください。
- ○塗装についてのお問い合わせはお答えできかねる場合がございます。

【パーツの接続について】

本製品の組み立てはハメ込み式ですが、別売りのプラスチックモデル用接着剤を使用して組み立てることで、よりしっかりとした仕上がりをお楽しみ頂けます。

※ABS製パーツが入っている場合、ABS用接着剤をご使用ください。

記号の説明

はめ込む

〈1〉内の順番で組み立てる

パーツの向きに注意

破損に注意

切り取る

選択式

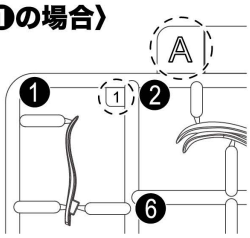
パーツの下にあるゲートを切り取る

切り取る位置に注意

パーツ番号について

パーツ番号は数字とアルファベットの組み合わせで、構成されています。

〈A❶の場合〉



二重線の吹き出しについて

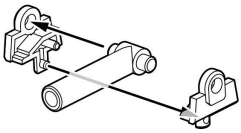
二重線の吹き出しは、『横から見た図』や『組み立てた図』などの補足図になります。形状をよく確認して組み立ててください。

〈使用例〉

はめ込む矢印のグレー部分について

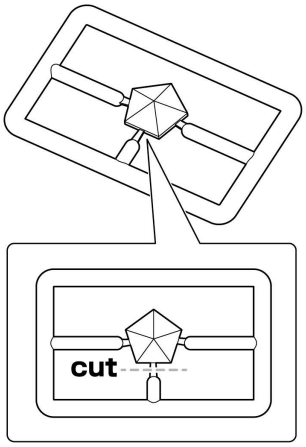
はめ込む矢印のグレー部分は、組み立てるパーツが他のパーツの下をくぐる場合や、軸や接続穴が隠れている場合に使用しています。

〈使用例〉

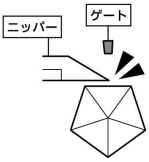


パーツの切り取り方

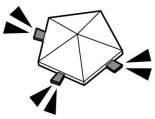
①パーツから少し離れた部分を切り取ります。



②ニッパーで残ったゲートの部分をきれいに切り取ってください。

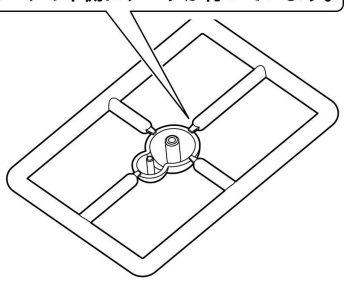


✕ゲートが残っていると、きれいに組み立てることが出来ません。

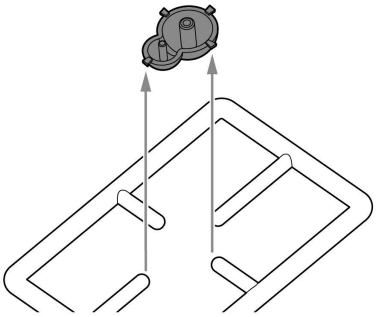


のついたパーツの切り取り方

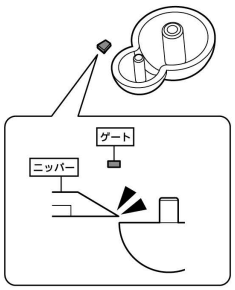
パーツの下側にゲートが付いています。



①パーツから少し離れた部分を切り取ります。



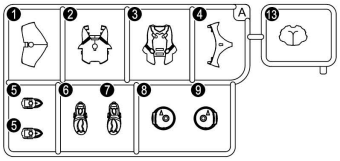
②ニッパーで残ったゲートの部分をきれいに切り取ってください。



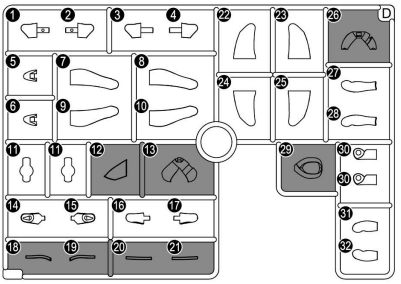
朱羅 弓兵 絆/パーツリスト

※グレー部分は使用しないパーツです。

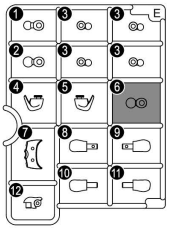
パーツA
(PS)



パーツD
(PS)

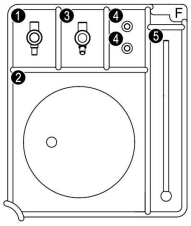


パーツE
(ABS)



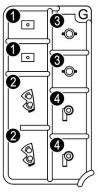
※E❸の余りは
予備パーツです。

パーツF
(ABS)

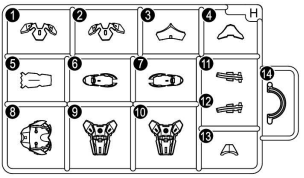


※F❹の余りは予備パーツです。

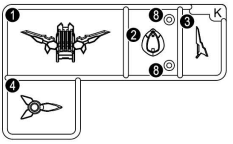
パーツG
(ABS)



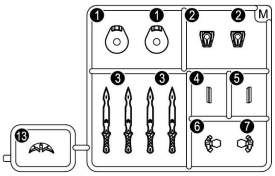
パーツH
(PS)



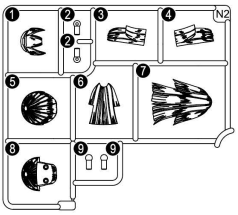
パーツK
(PS)



パーツM
(PS)

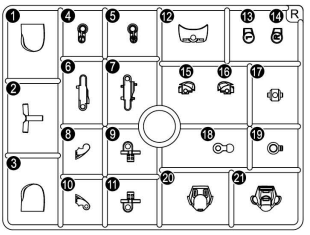


パーツN2
(PS)

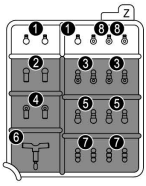


※N2❷、N2❾の余りは予備パーツです。

パーツR
(ABS)



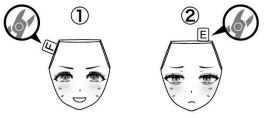
パーツZ
(POM)



※Z❶、Z❽の余りは
予備パーツです。

フェイスパーツ
(ABS)

※フェイスパーツは選択式です。

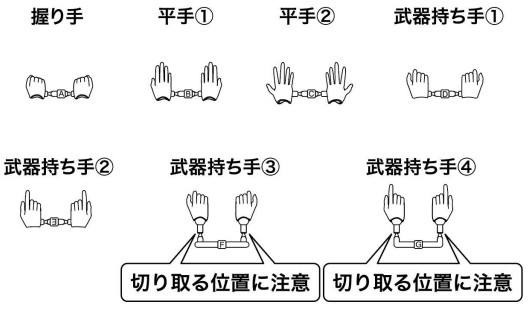


タンポ無しフェイスパーツ
(ABS)

※水転写デカールを貼るなどして
使用してください。

ハンドパーツ
(非フタル酸:PVC)

※図はランナーの一部を省略しています。
※ハンドパーツは選択式です。



○水転写デカール

※塗装部分は模型用の薄め液で落とすことが可能です。

本書のイラストは開発中のデータを使用しています。やむをえず細部の形状が実際の製品と異なっている場合がございますが予めご了承ください（組み立てに支障はございません）。3mm軸等汎用的な取り付け箇所については一例です。カスタマイズの参考にご利用ください。

本取扱説明書の構成について

※本取扱説明書は「武装モード」から「素体モード」を組み立てます。以降は別売りの製品と組み合わせた「カスタム素体」の組み立てから「カスタム武装モード」、「侍モード」を選択式で組み立てた後「ギミック」の順にて説明をしています。
※「カスタム素体」、「カスタム武装モード」の組み立てには組み立て前の「朱羅 弓兵」（別売り）、「侍モード」の組み立てには更に「朱羅 忍者」（別売り）が必要です。

本製品のみを使用した組み立て

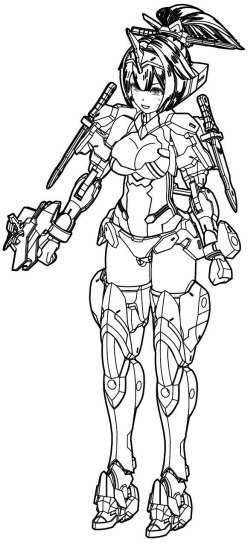
〈武装モード〉

〈素体モード〉

本製品と別売り製品を併せて使用した組み立て

※「カスタム素体」、「カスタム武装モード」の組み立てには組み立て前の「朱羅 弓兵」（別売り）が必要です。
※「侍モード」の組み立てには組み立て前の「朱羅 弓兵」（別売り）と「朱羅 忍者」（別売り）が必要です。

〈カスタム素体〉



〈カスタム武装モード〉

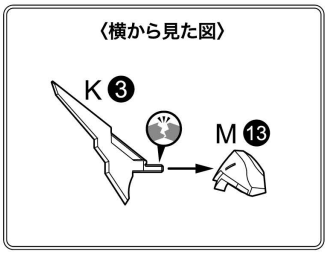
〈侍モード〉

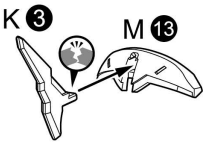
武装モード　頭部の組み立て

〈完成イメージ〉

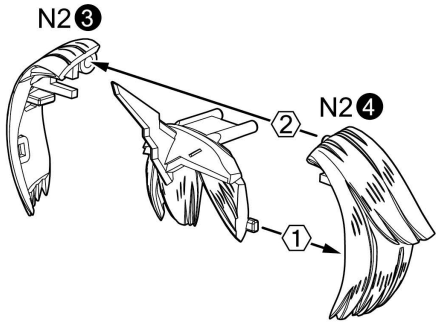
※完成イメージは塗装完成品を使用しています。

1



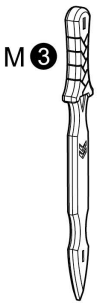


2〈前髪〉

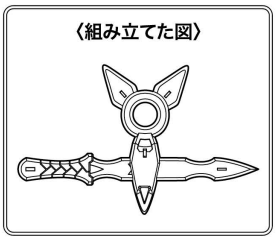


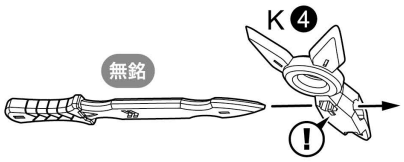
3〈無銘〉

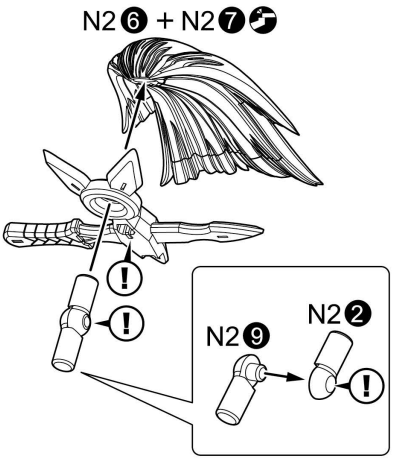
×4



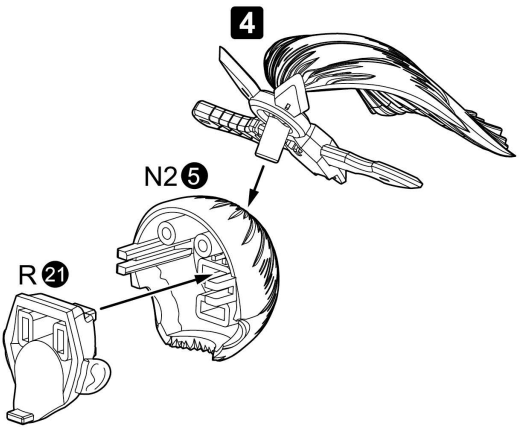
4

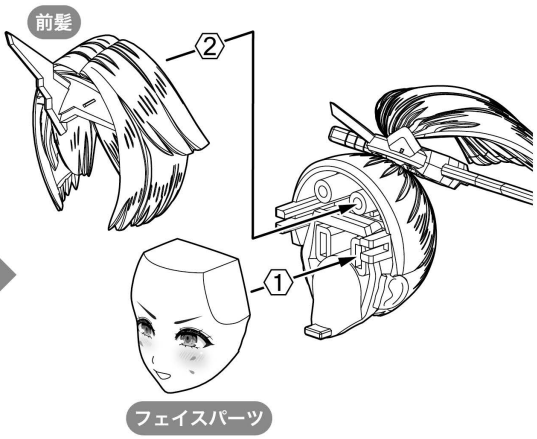






5



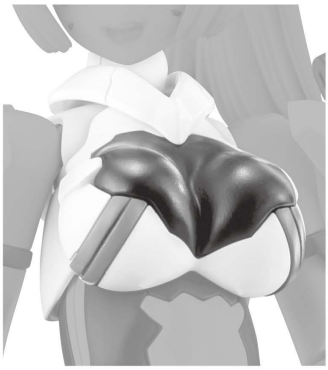


フェイスパーツの交換方法

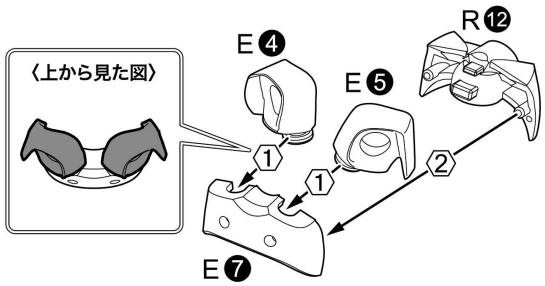
前髪→フェイスパーツの順番で取り外し、交換するパーツを逆の手順で取り付けます。

胸部の組み立て

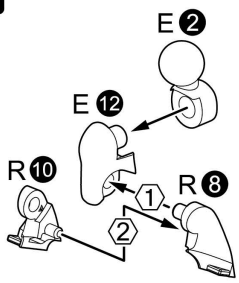
〈完成イメージ〉

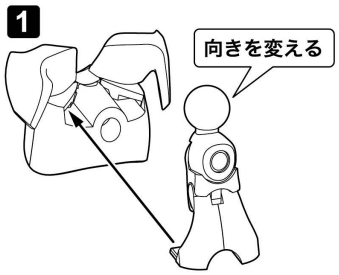


1

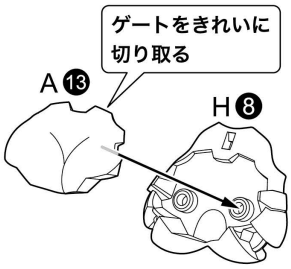


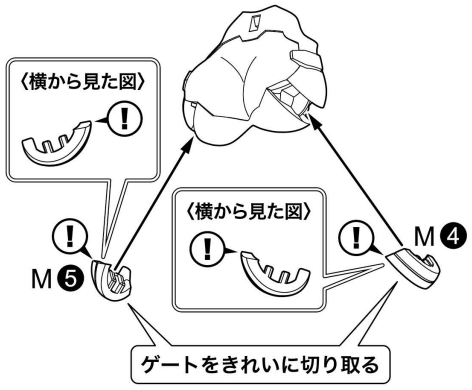
2



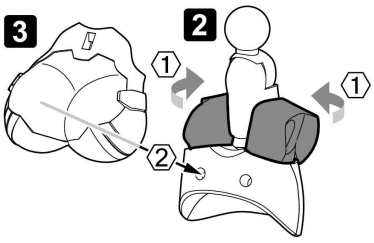


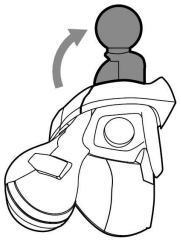
3





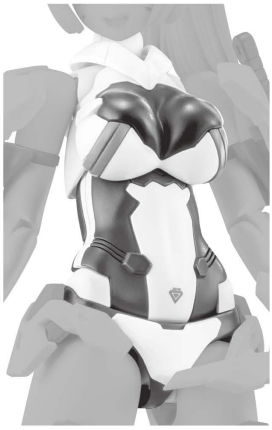
4



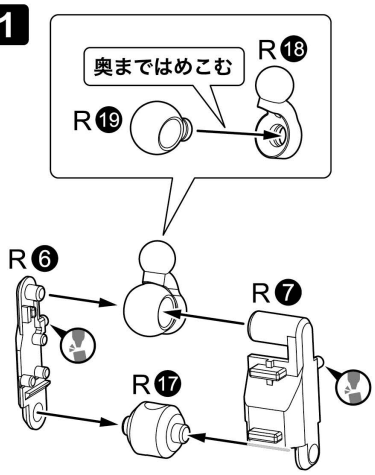


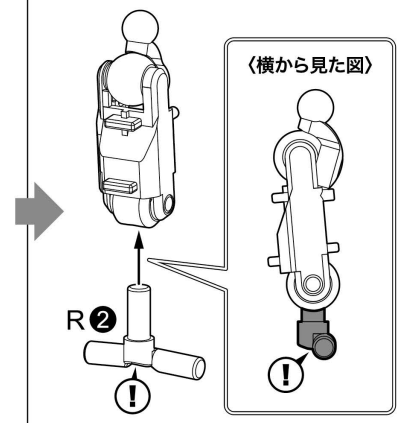
胴体の組み立て

〈完成イメージ〉

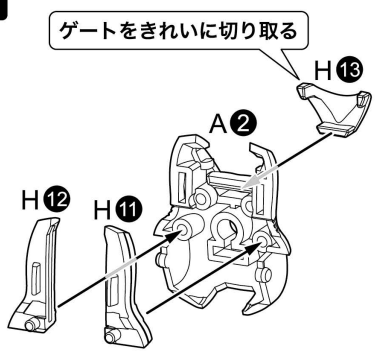


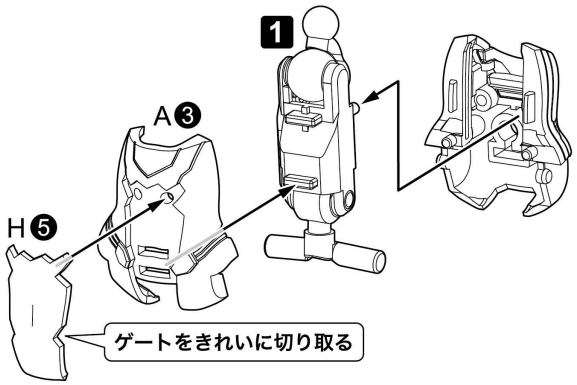
1



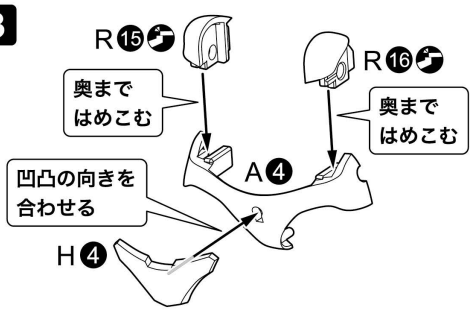


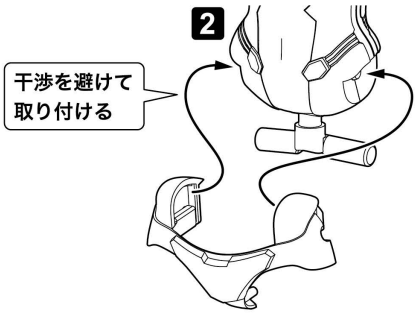
2



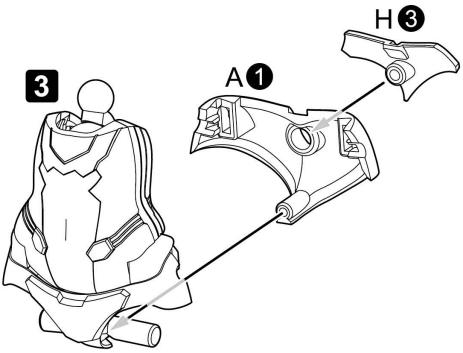


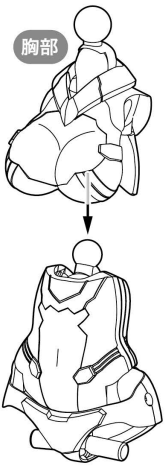
3





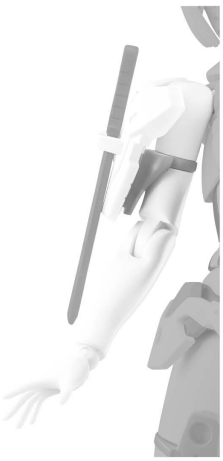
4

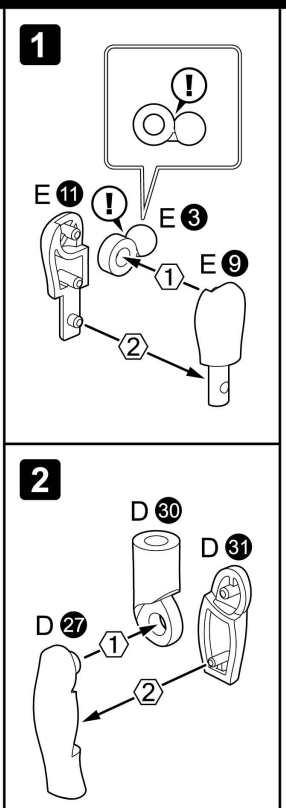


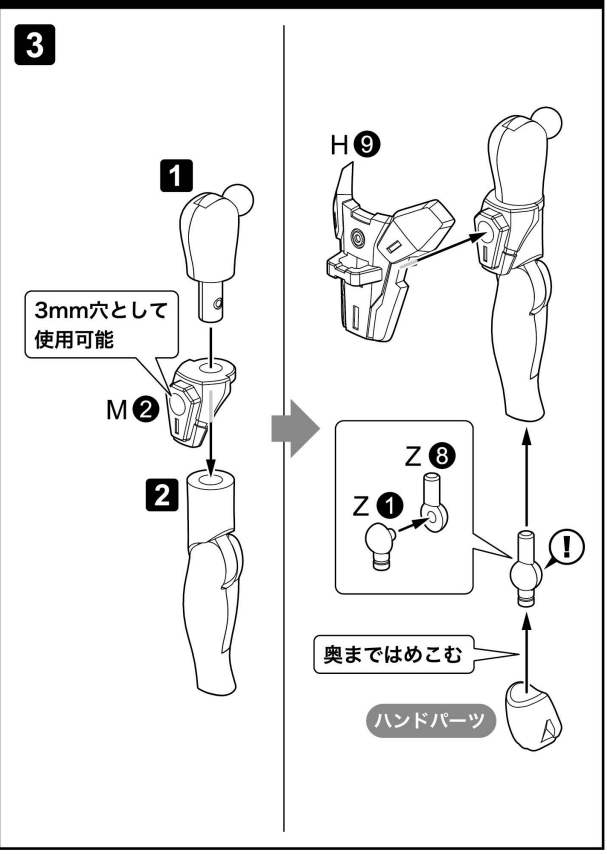


右腕の組み立て

〈完成イメージ〉

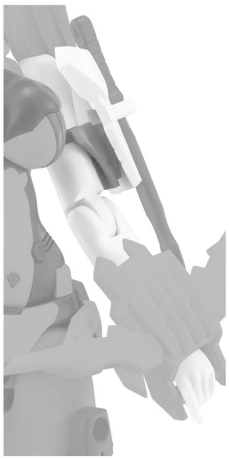


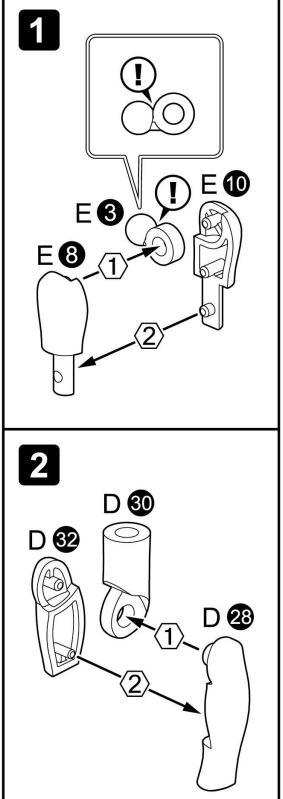


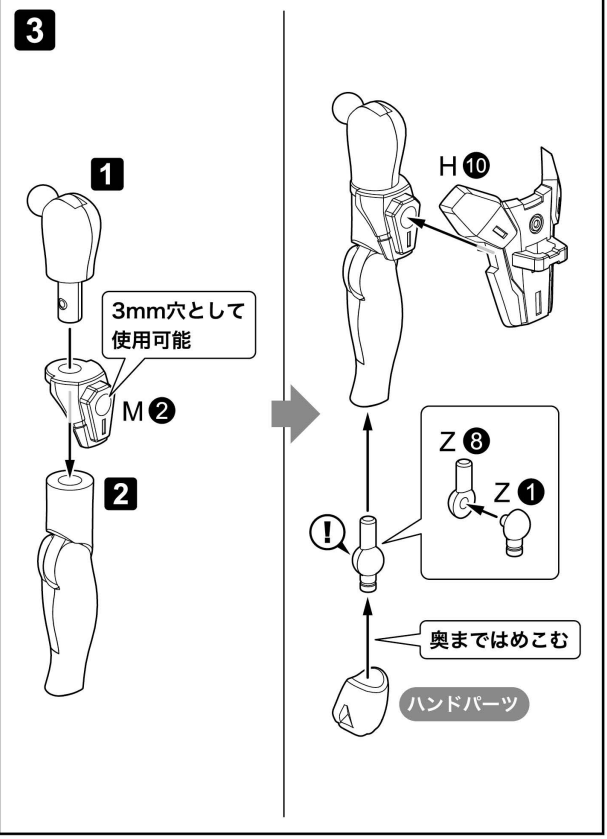


左腕の組み立て

〈完成イメージ〉



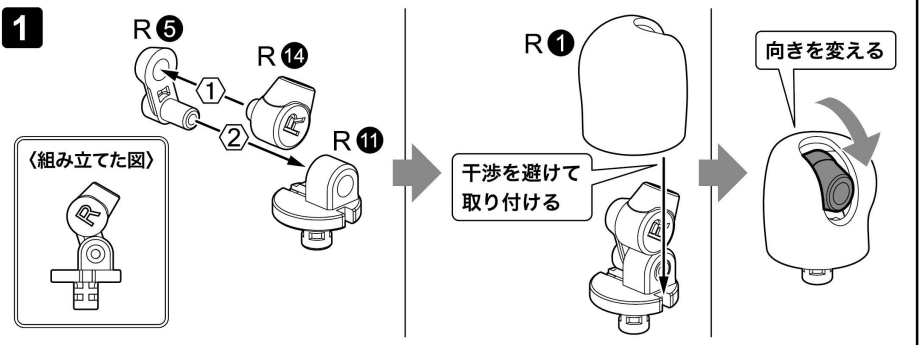




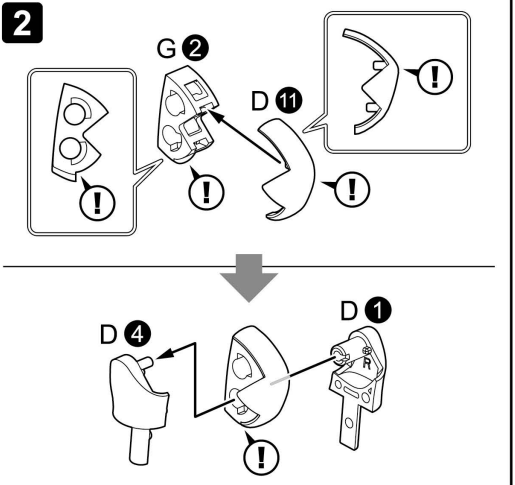
右脚の組み立て

〈完成イメージ〉

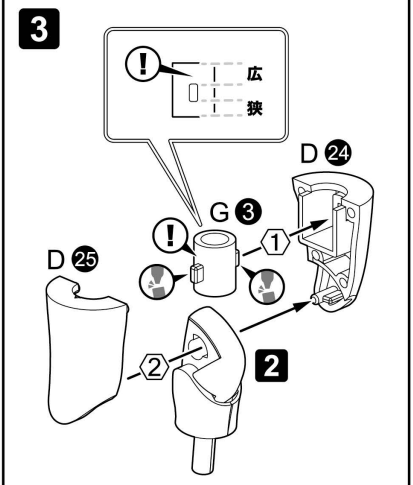
1



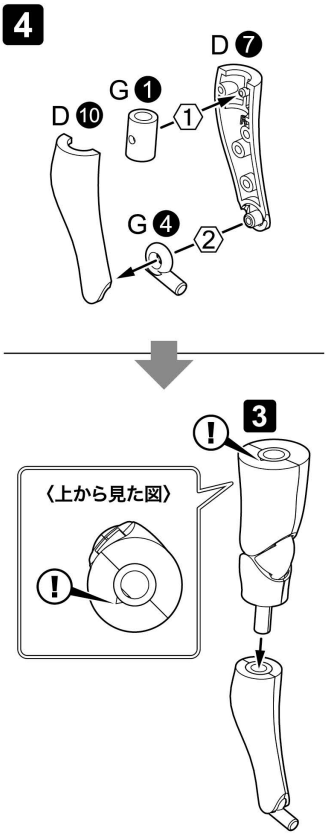
2



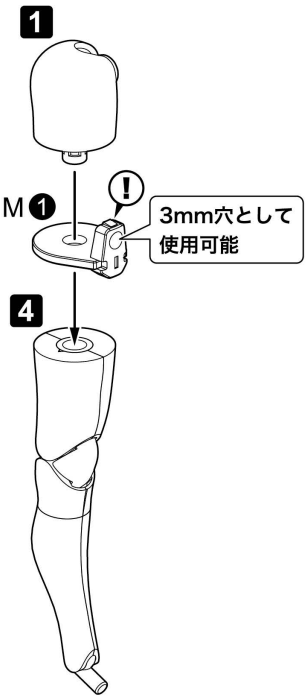
3



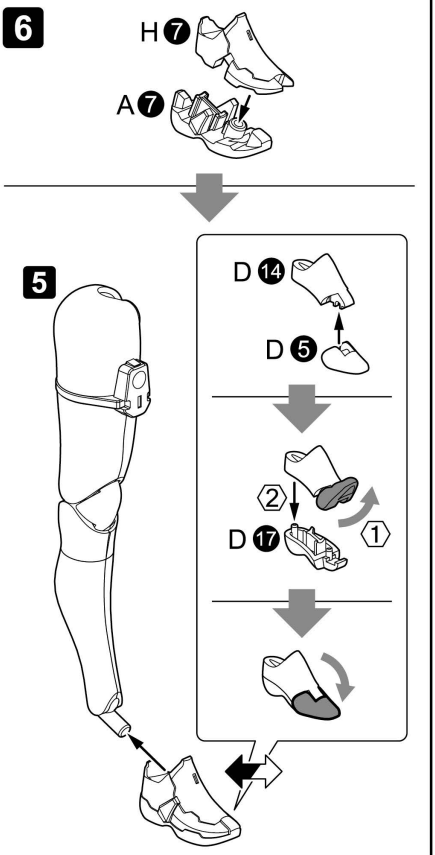
4



5



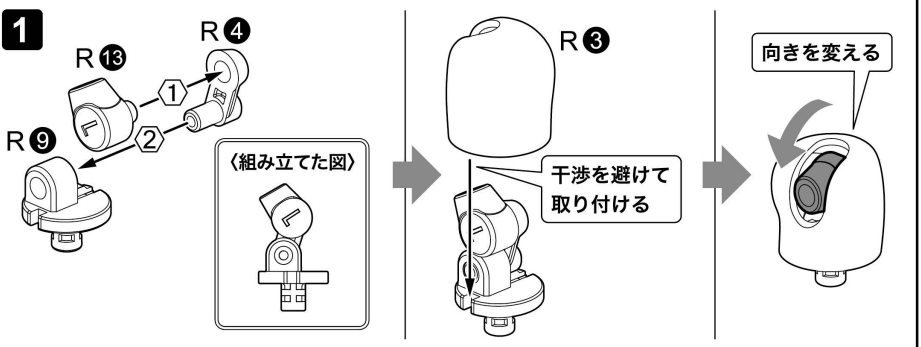
6



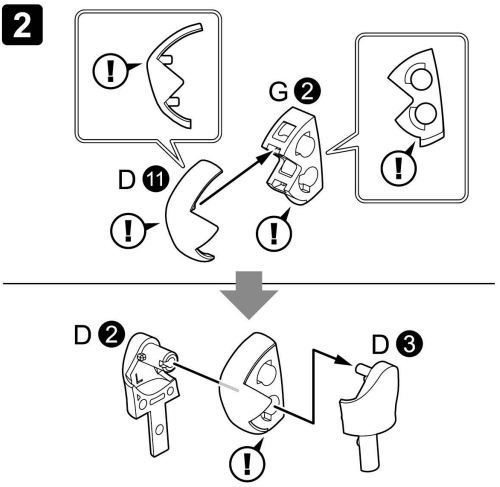
左脚の組み立て

〈完成イメージ〉

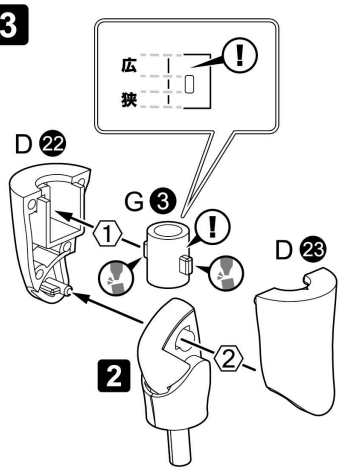
1



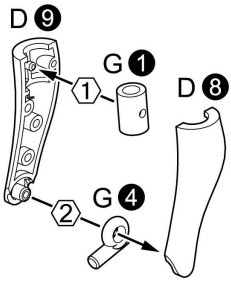
2



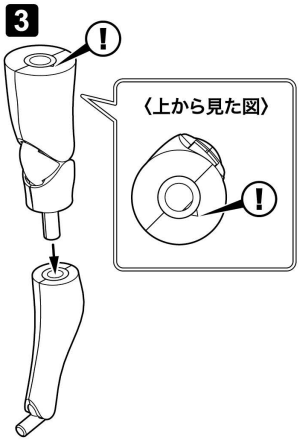
3



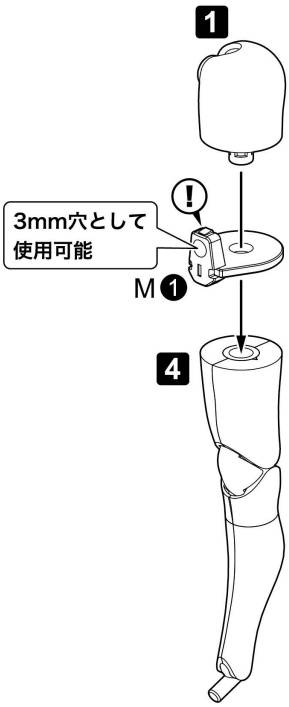
4



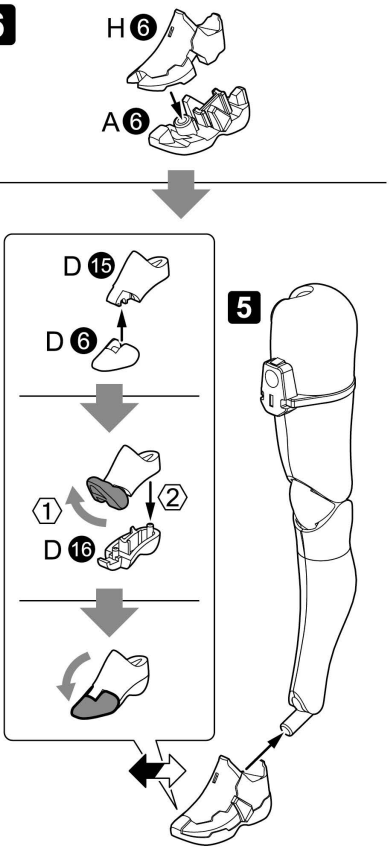
3



5

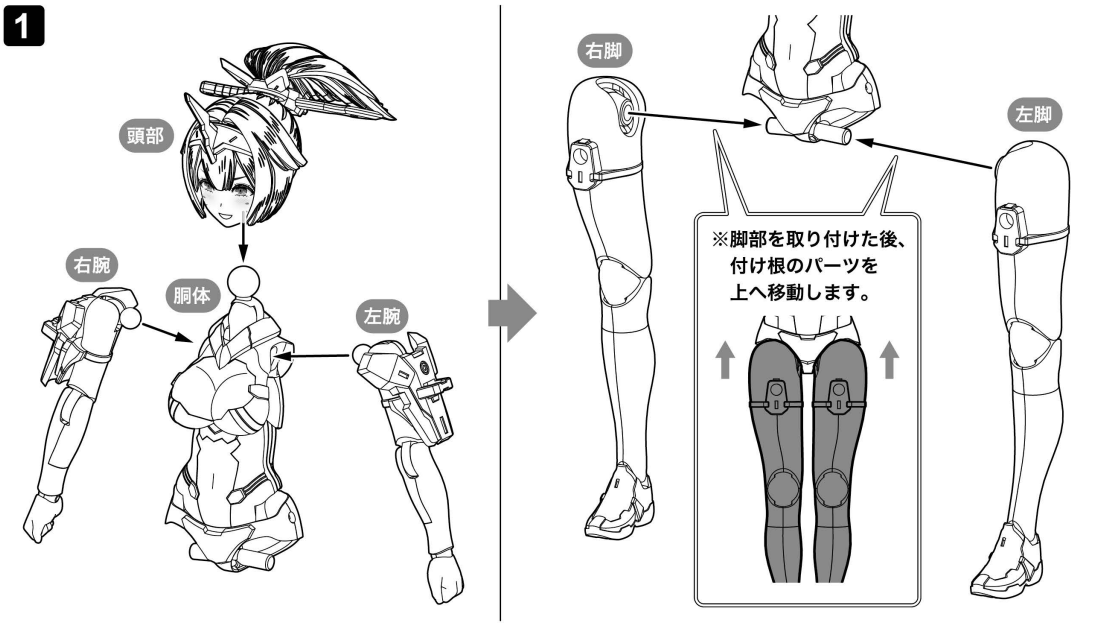


6

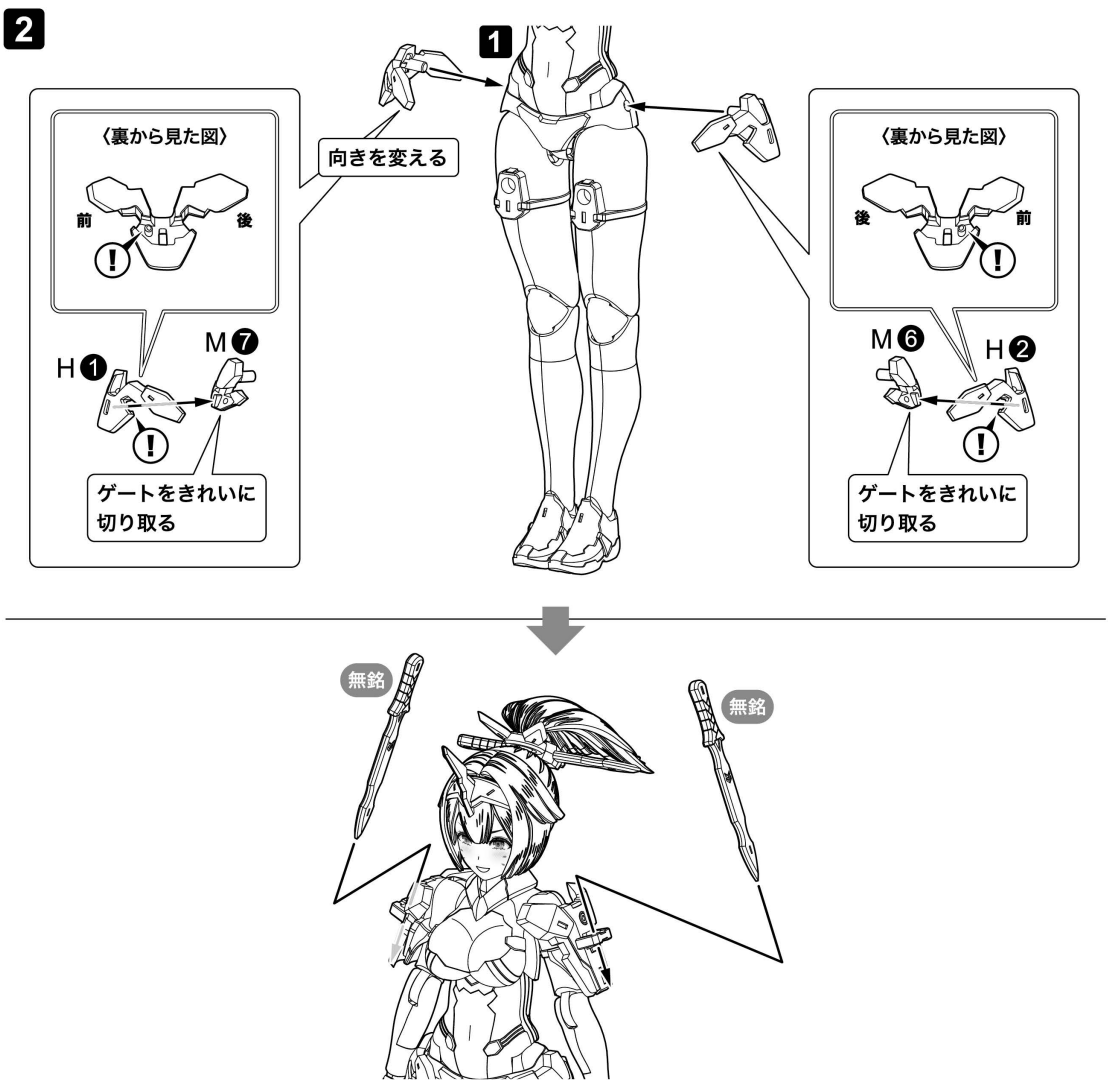


武装モードの完成

1

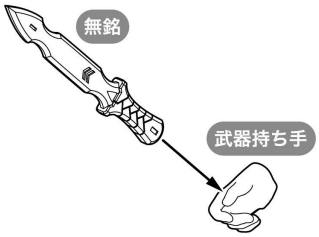

頭部
右腕
胴体
左腕
右脚
左脚
※脚部を取り付けた後、
付け根のパーツを
上へ移動します。

2


1
向きを変える
〈裏から見た図〉
前
後
H❶
M❼
ゲートをきれいに
切り取る
〈裏から見た図〉
後
前
M❻
H❷
ゲートをきれいに
切り取る
無銘
無銘

無銘の持たせ方

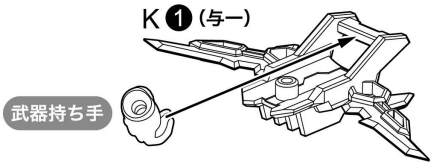
※左右の各種武器持ち手も使用できます。
※持たせた後、使用中のハンドパーツと交換します。

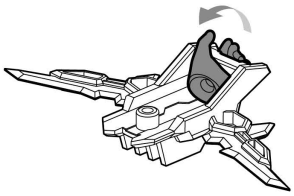


与一について

〈与一の持たせ方〉

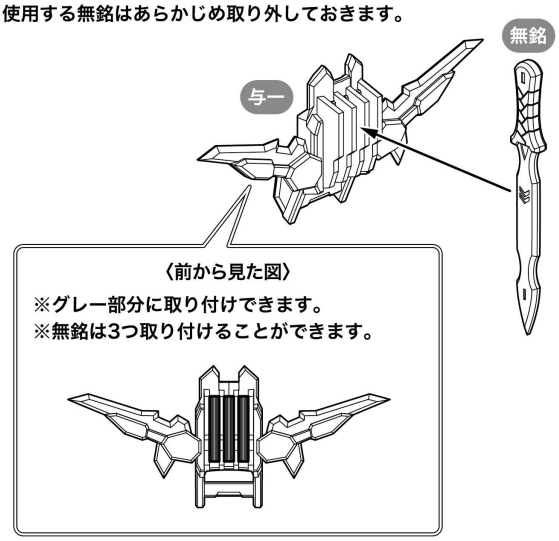
※左右の各種武器持ち手も使用できます。
※持たせた後、使用中のハンドパーツと交換します。



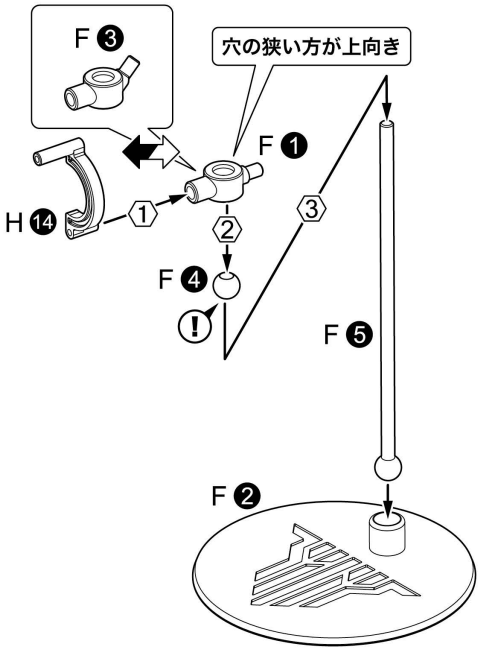


〈無銘の取り付け方〉

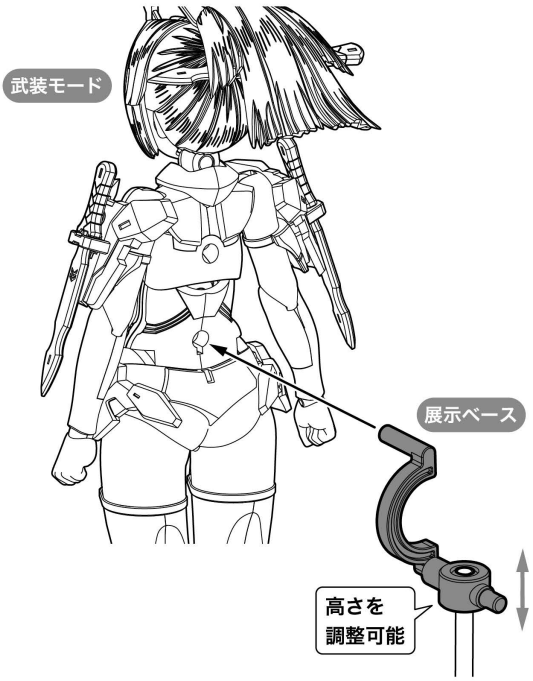
※使用する無銘はあらかじめ取り外しておきます。



展示ベースの組み立て



展示ベースの取り付け方



素体モード

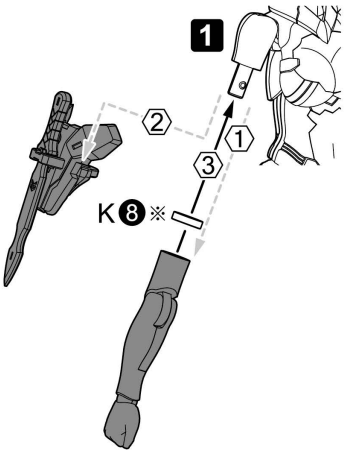
※本製品と別売り製品を併せて使用した組み立てへ進む場合、この項目を飛ばします。

〈完成イメージ〉

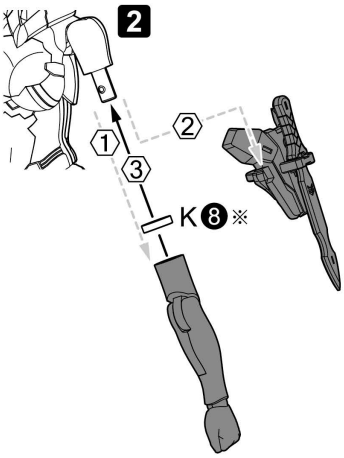
1

※説明のために一部パーツを省略しています。

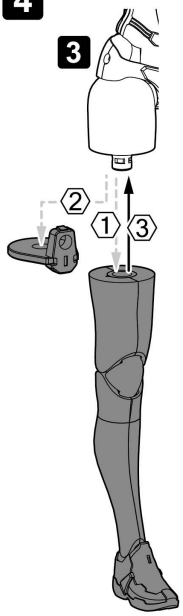
2 ※後述の「カスタム素体の完成」でも使用します。



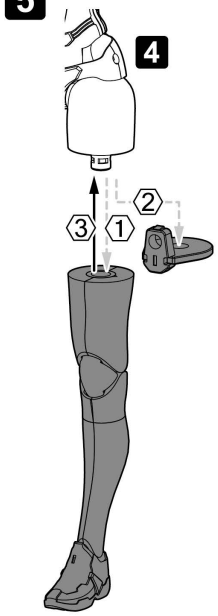
3 ※後述の「カスタム素体の完成」でも使用します。



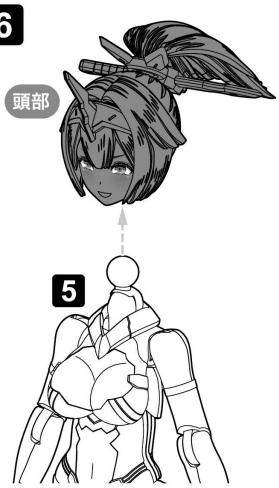
4

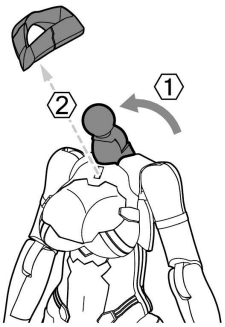


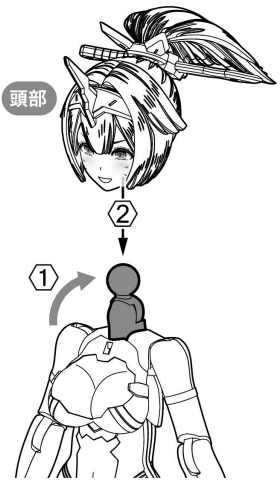
5



6





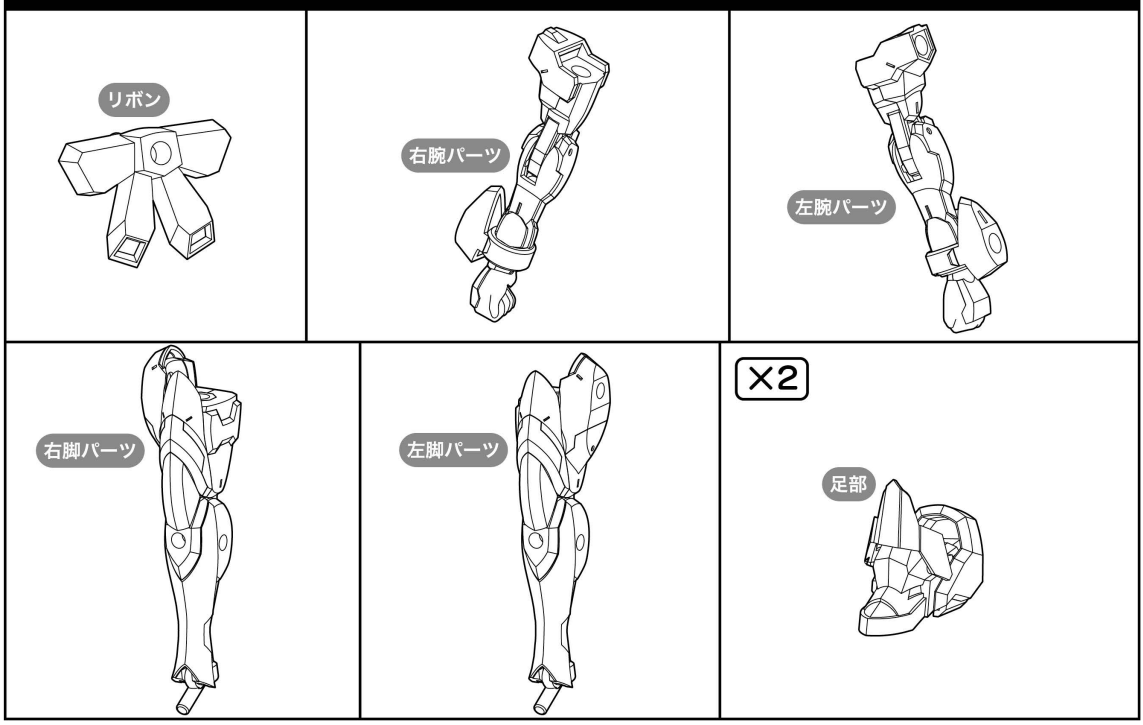


組み立て前の準備

※後述の「カスタム素体」、「カスタム武装モード」の組み立てには組み立て前の「朱羅 弓兵」（別売り）、「侍モード」の組み立てには更に組み立て前の「朱羅 忍者」（別売り）が必要です。
※各製品の取扱説明書を参考に下図のパーツを用意します。

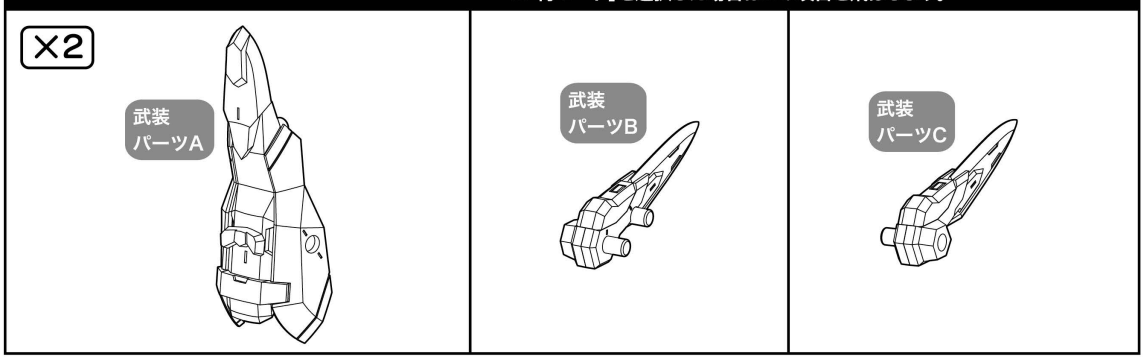
カスタム素体パーツ

※「朱羅 弓兵」（別売り）の取扱説明書を参考に下図のパーツを組み立てます。



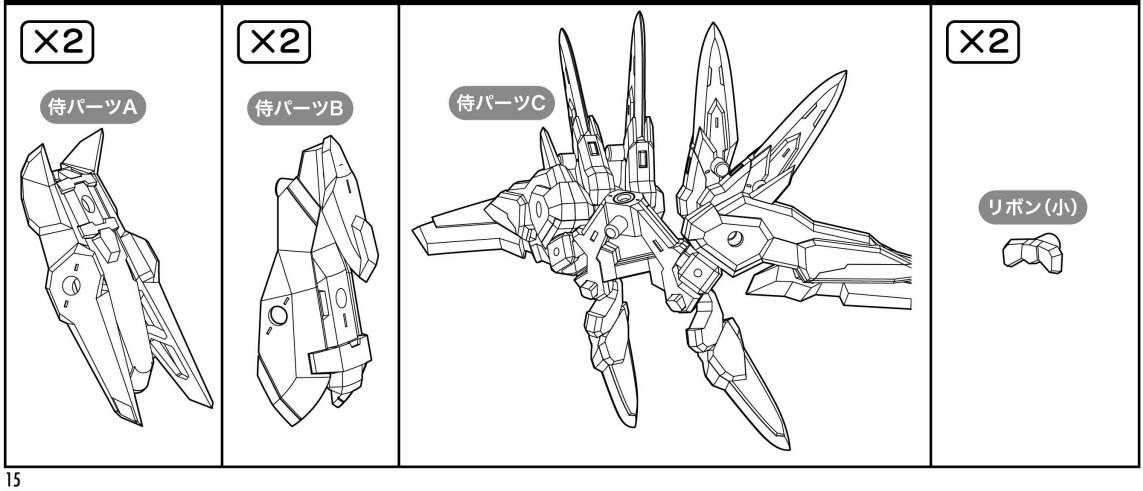
カスタム武装モードパーツ

※「朱羅 弓兵」（別売り）の取扱説明書を参考に下図のパーツを組み立てます。
※「侍モード」を選択した場合はこの項目を飛ばします。



侍モードパーツ

※「朱羅 弓兵」（別売り）と「朱羅 忍者」（別売り）の取扱説明書を参考に下図のパーツを組み立てます。
※「カスタム武装モード」を選択した場合はこの項目を飛ばします。

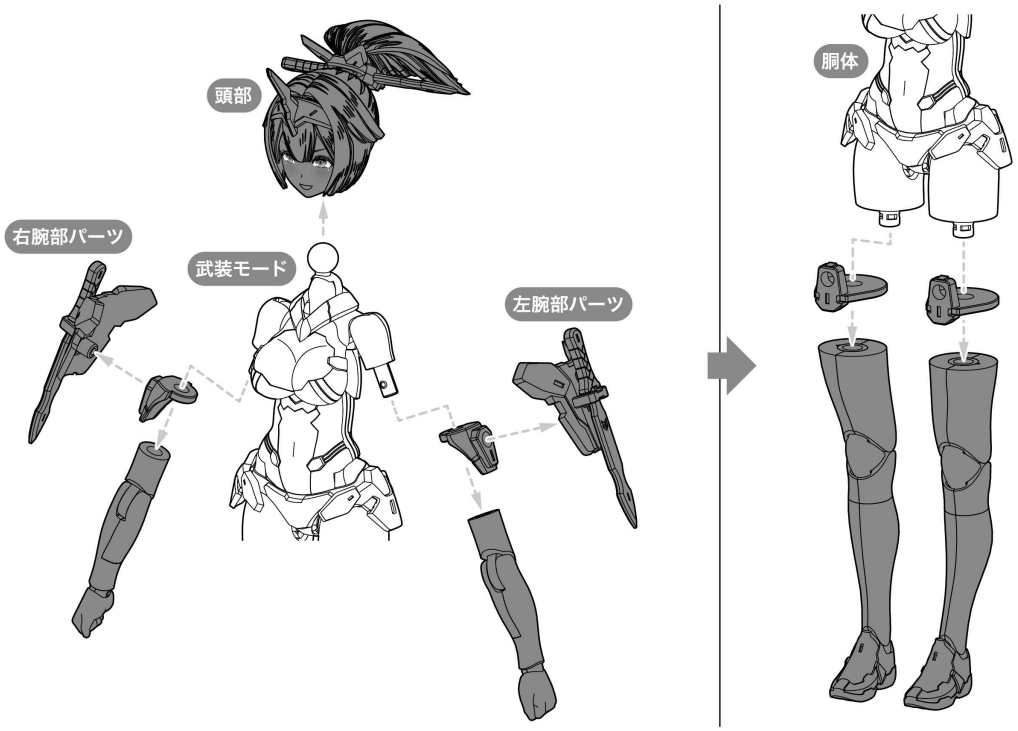


カスタム素体

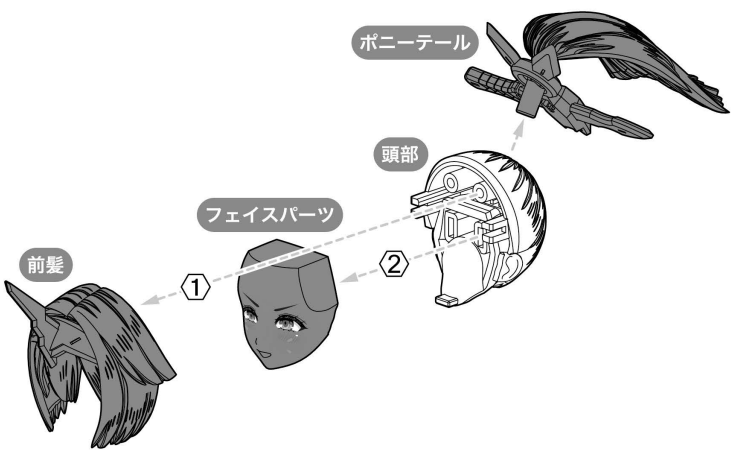
※組み立てには「朱羅 弓兵」(別売り)が必要です。
※本項目を組み立てた後、「カスタム武装モード」と「侍モード」の選択式で組み立てます。

武装モードの分解

1

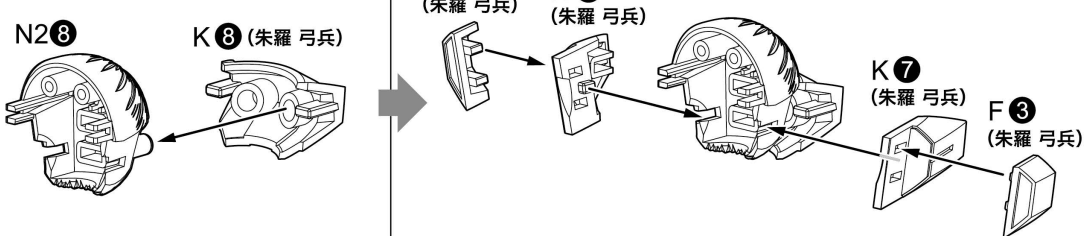


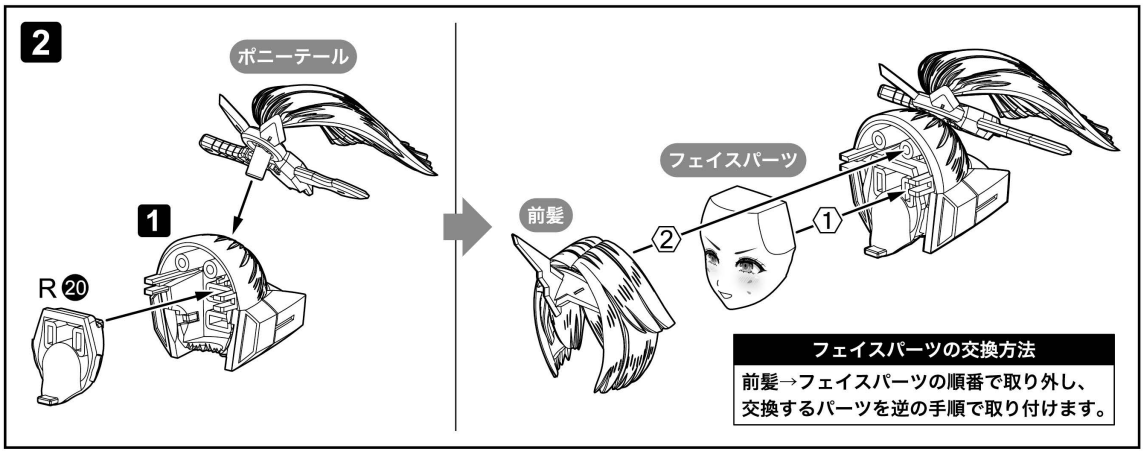
2



頭部の組み立て

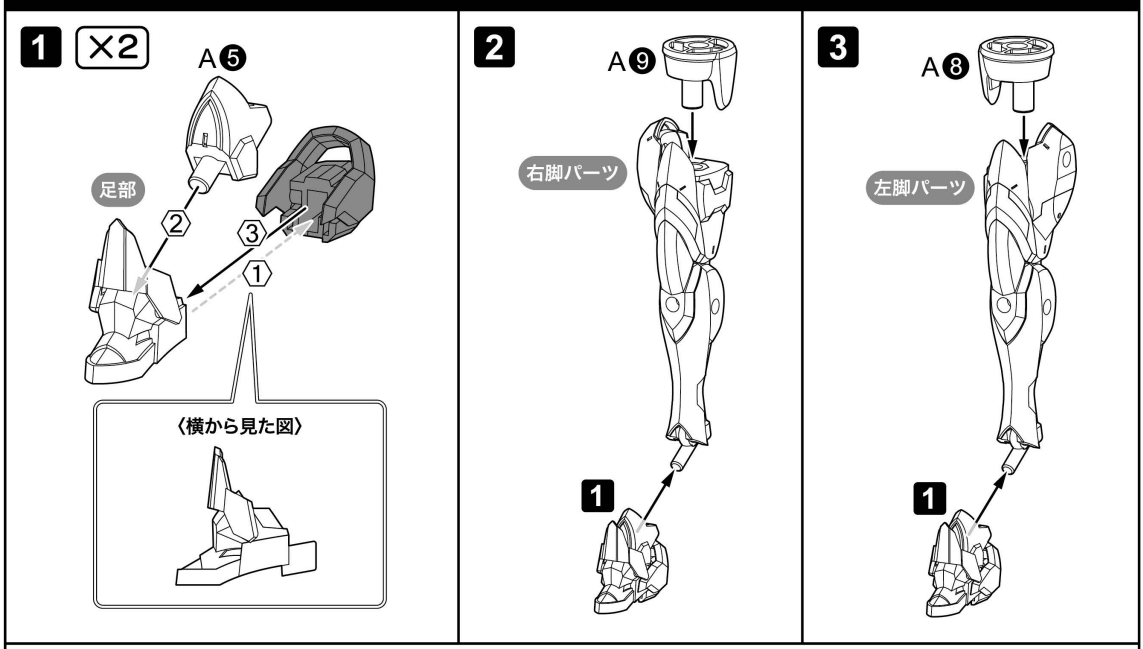
1

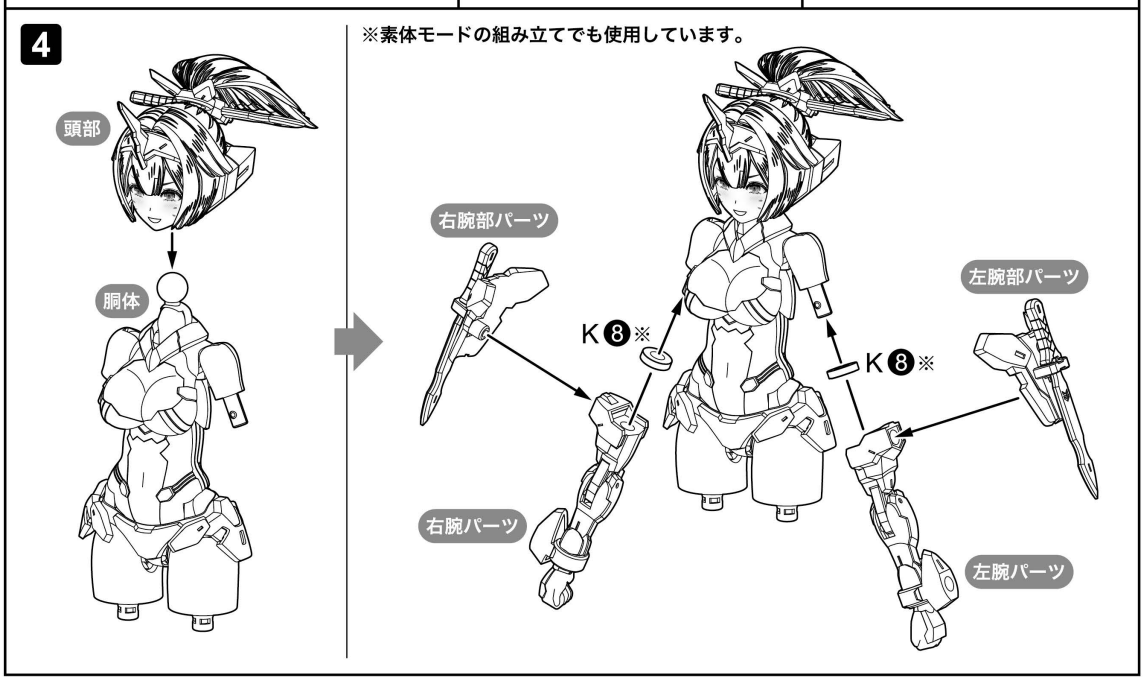


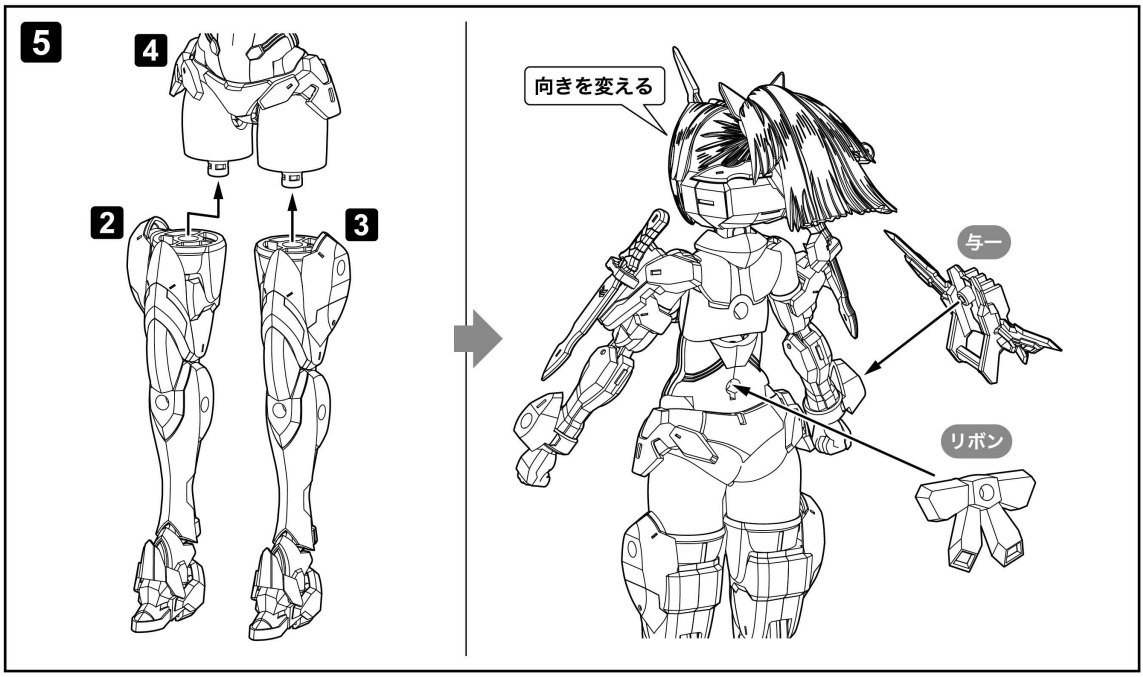


カスタム素体の完成

※「武装モード」、「侍モード」で共通の組み立てです。

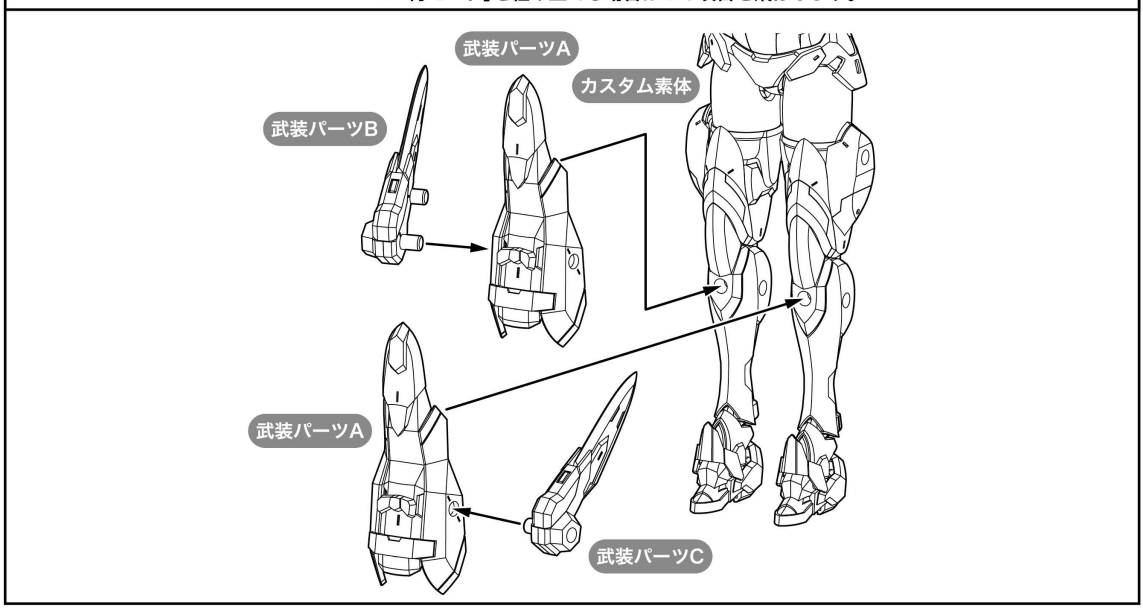




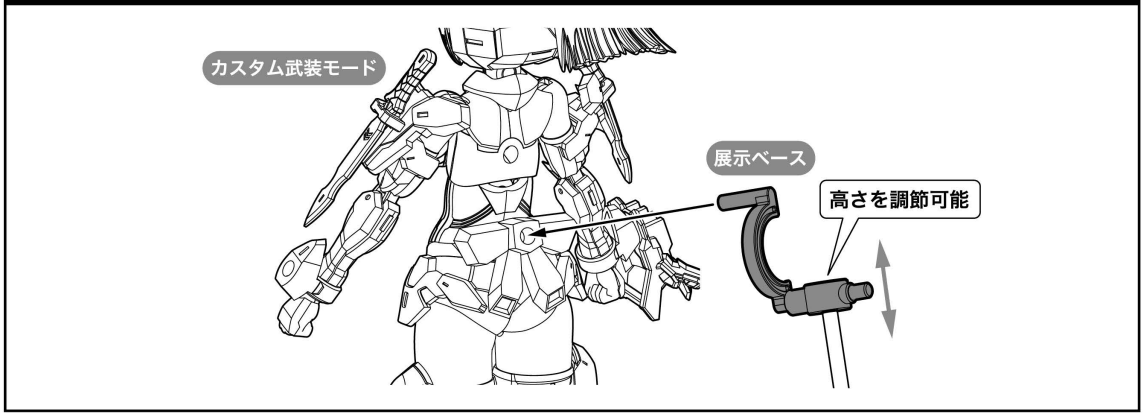


カスタム武装モード

※組み立てには組み立て前のメガミデバイス「朱羅 弓兵」(別売り)のパーツを使用します。
※「侍モード」を組み立てる場合はこの項目を飛ばします。



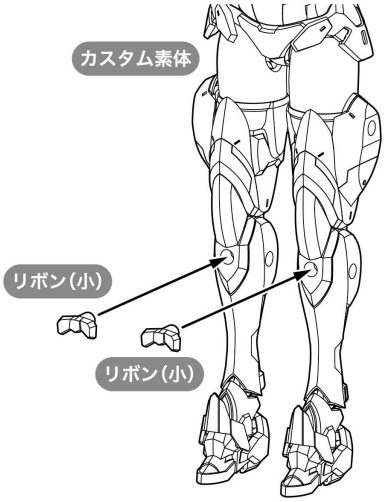
展示ベースの取り付け方



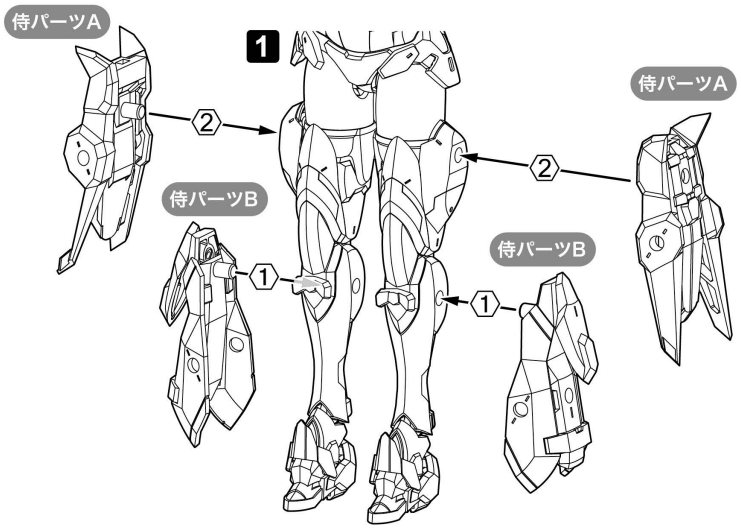
侍モード

※組み立てには組み立て前の「朱羅 弓兵」(別売り)と「朱羅 忍者」(別売り)のパーツを使用します。
※「カスタム武装モード」を組み立てた場合はこの項目を飛ばします。

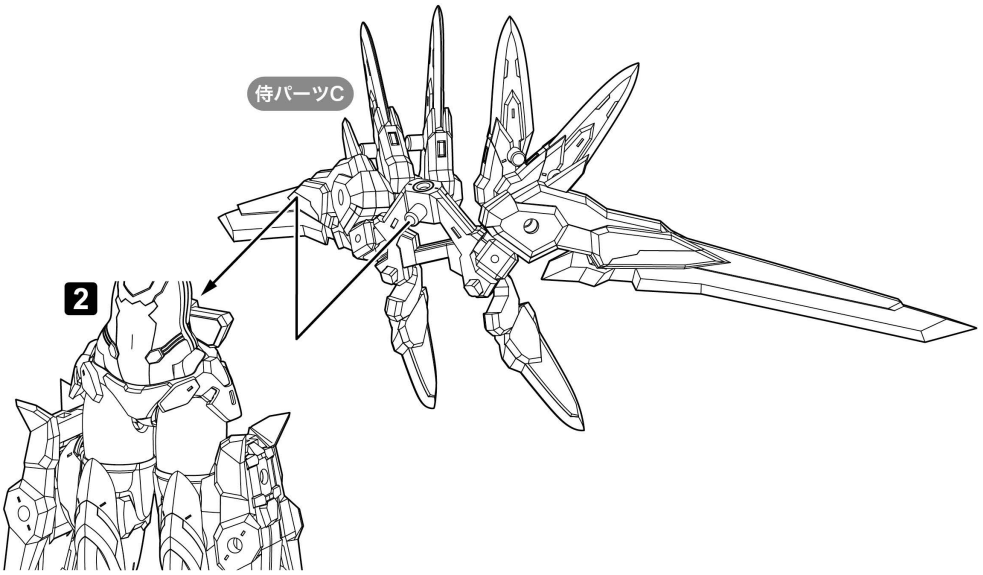
1



2

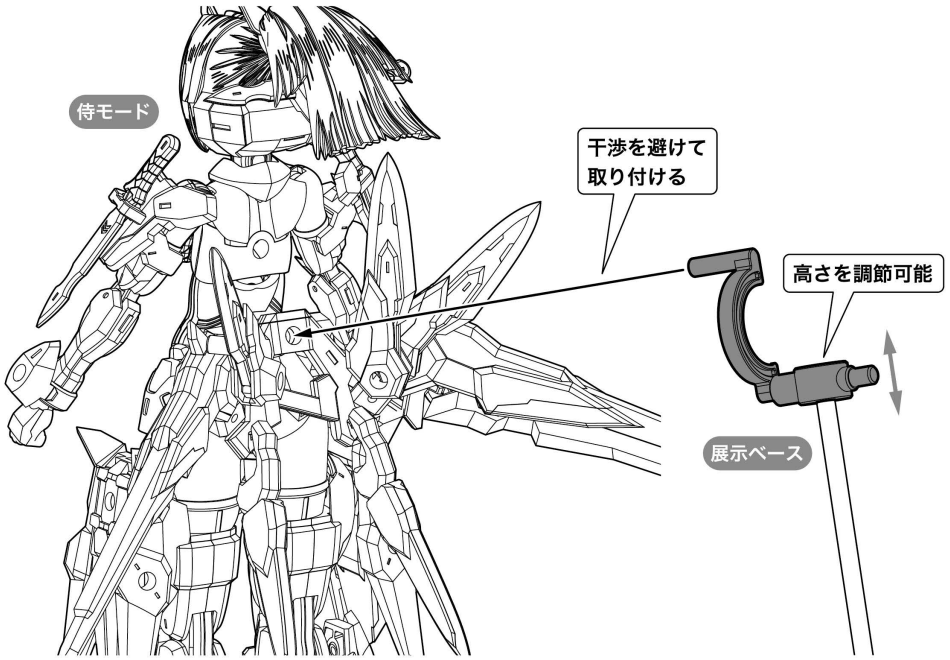


3



展示ベースの取り付け方

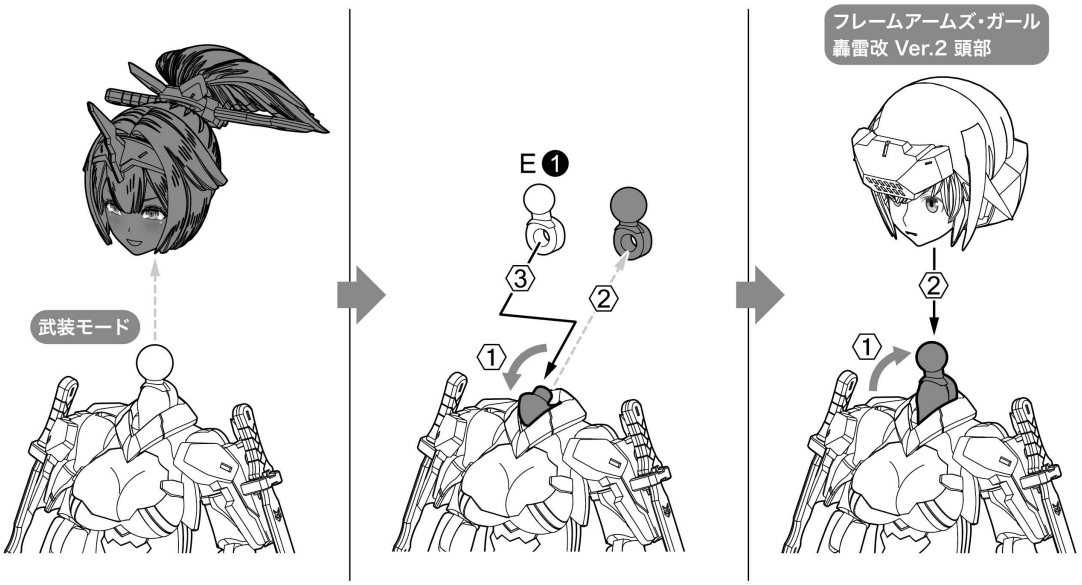
※説明のために一部パーツを省略しています。



ギミック

フレームアームズ・ガールシリーズ頭部の取り付け方

※素体モードも同様の手順で取り付けできます。
※図はフレームアームズ・ガール轟雷改Ver.2(別売り)を使用しています。



水転写デカールの貼り方

●ハサミまたはデザインナイフ、ピンセット、綿棒などを用意してください。
●デカールを貼る部分の油分をあらかじめ中性洗剤などで拭き取るとしっかりと貼ることができます。

デカールが乾くまで手を触れないようにしてください。

①使用するデカールをハサミまたはデザインナイフで台紙ごと切り取ります。②切り取ったデカールを水またはぬるま湯に約10秒程浮かべ、ピンセットで引き上げます。③デカールを台紙からはがし、位置を調整しながら貼り付けます。④貼り付けたデカールの上から綿棒をやさしく押しあて、残っている水分を押し出します。デカール部分が完全に乾けば完成です。
●ざらざらした面や凹凸面、水を吸い込む物(ざらざらした塗装してない木製品等)には貼ることができませんのでご注意ください。
●もし失敗してはがしたい場合は水をたっぷりと含ませたタオル等を10分程あてて、軽くこすってください。

COLOR / DECAL GUIDE

※こちらの塗料は全国の模型店及びホビーショップ等でお買い求めください。
※塗料の配合比は参考値になります。ご了承ください。

●=Mr. カラーシリーズ(株式会社 GSI クレオス)

●1 Mr.カラー / H-1 水性ホビーカラー :ホワイト

■= ガイアカラーシリーズ(ガイアノーツ株式会社)

■001 ガイアカラー :ピュアホワイト

■FG-01 フレームアームズ・ガールカラー :プラスチックフレッシュ

レッド

■003:ブライトレッド (50%)
■005:サンシャインイエロー (15%)
■034:純色マゼンタ (15%)
■031:アルティメットホワイト (10%)
■102:蛍光ピンク (7%)
■105:蛍光イエロー (3%)

ブラック

■002:ピュアブラック (60%)
■031:アルティメットホワイト (20%)
■034:純色マゼンタ (15%)
■033:純色シアン (5%)

髪

●1/H-1:ホワイト(70%)
●58/H-24:黄橙色(8%)
●7/H-7:ブラウン(7%)
●19:サンディブラウン(15%)

ホワイト

■031:アルティメットホワイト (100%)

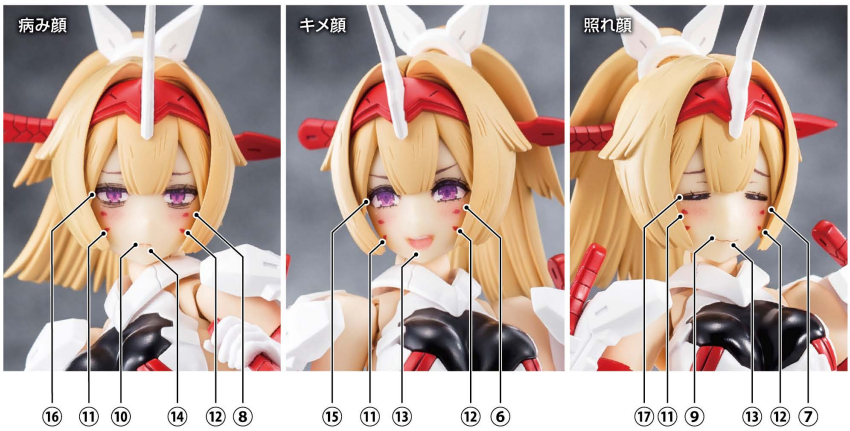
肌

●111:キャラクターフレッシュ(1) (80%)
●112:キャラクターフレッシュ(2) (20%)
※または
■FG-02:ベースフレッシュ (100%)

※塗装部分は模型用の薄め液で落とすことが可能です。
※POM製パーツ、PVC製パーツは材質上、塗料をはじくため塗装はお勧めできません。
※ABS製パーツへの塗装は、パーツの破損につながる恐れがあります。
塗装を行う場合は、コトブキヤ オフィシャルサイト(www.kotobukiya.co.jp/page-21029/)の内容をよくご確認ください。
右記のQRコードからもご確認いただけます。
※ラッカー系塗料(溶剤系アクリル樹脂塗料)と、水性塗料(水溶性アクリル樹脂塗料)は混色できませんので、ご注意ください。

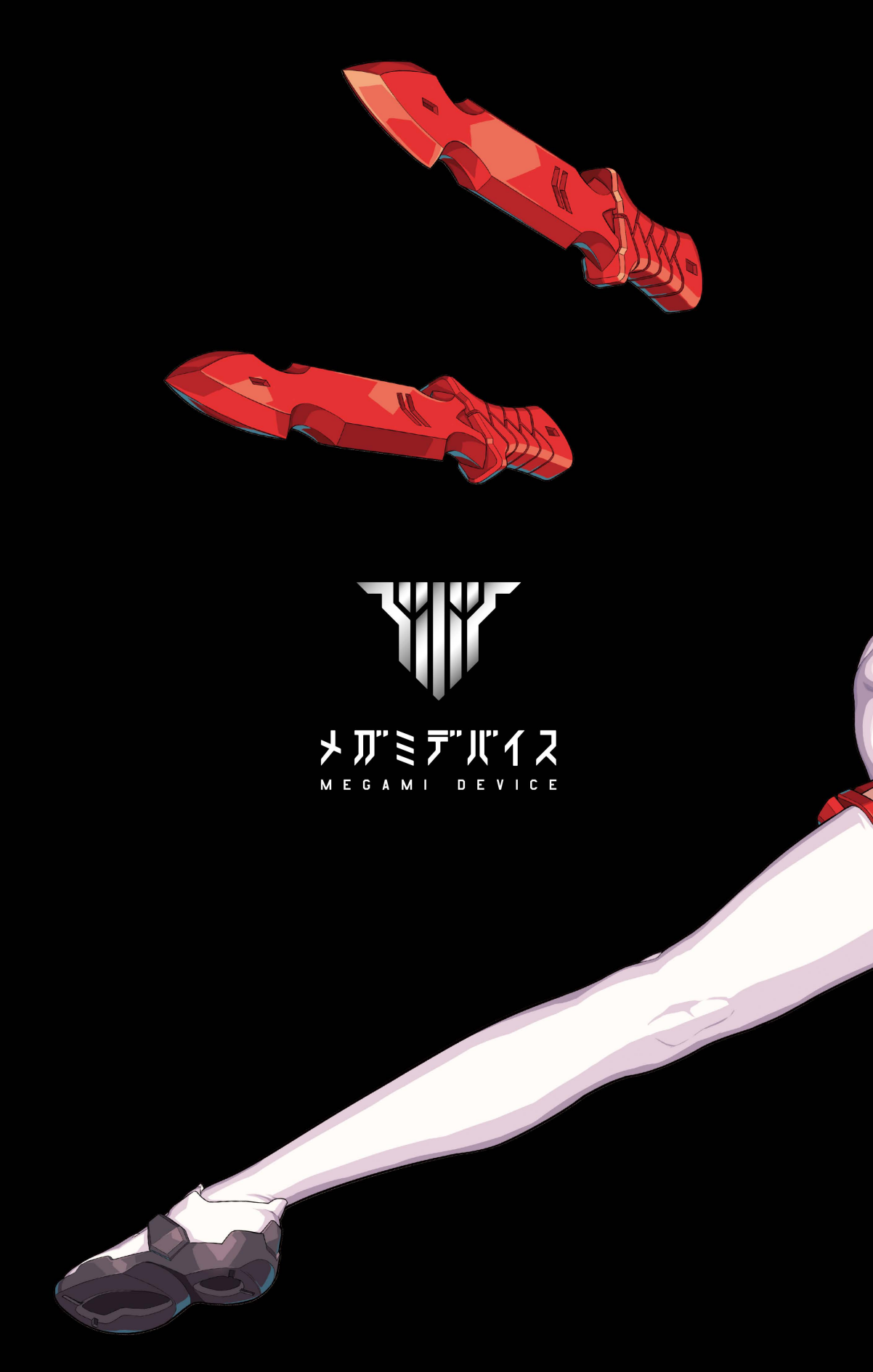
※水転写デカールの位置を確認して貼ってください。
※水転写デカールの貼り方については、本書内「水転写デカールの貼り方」をご参照ください。
※余ったデカールは、お好きな位置に貼ってください。

①=デカール番号



頬紅

頬紅は、ピンク色のパステル（[ヌーベル カレーパステル] ローズ014）を紙やすり（400番）で粉にして、短めの筆にとって軽く撫でるようにして彩色します。頬紅の後、頬の白のハイライトを入れるとより再現度が上がります。


メガミデバイス
MEGAMI DEVICE